

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	国語総合①	単位数	2単位
-----	-------	-----	-----

1 教科書・副教材

明解 国語総合 (三省堂) 常用漢字アルファ (桐原書店) 新訂国語図説三訂版 (京都書房)
--

2 科目の目標

現代文分野の様々な文章・表現を読み、深く考える力や感じる力、豊かに表現する力を養う。漢字その他、日常生活に必要な言語的知識を身につける。
--

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	随想のⅠ 「ベトナムのコーヒー屋」 「負け方を習得する」	定期考査①	13
	5月	小説のⅠ 「雪ウサギ」		
	6月	「一瞬を生きる」 随想のⅡ 「ツゴイネルワイゼン」	定期考査②	15
	7月	小説のⅡ 「バスに乗って」	定期考査③	15
	8月			
9月				
後 期	10月	評論Ⅰ 「水の東西」	定期考査④	18
	11月	詩Ⅰ 詩3篇		
	12月	随想Ⅳ 「あたりまえのことにありがとう」	定期考査⑤	17
	1月	小説Ⅲ 「羅生門」		
	2月	「届く言葉、届かない言葉」		
3月	表現Ⅰ			

4 評価の方法

定期考査に漢字の小テスト、課題の取り組み・提出状況、出席率等を加味した総合評価とする。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 授業に遅れたり休んだりしないこと。プリントやノートをきちんと整理すること。漢字の小テストにしっかりと取り組むこと。

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	国語総合②	単位数	2単位
-----	-------	-----	-----

1 教科書・副教材

明解 国語総合 (三省堂) 常用漢字アルファ (桐原書店) 新訂国語図説三訂版 (京都書房)

2 科目の目標

日本や中国の古典分野の様々な文章・表現に触れて心情を豊かにしていくとともに、自ら考える姿勢を育む。漢字その他、日常生活に必要な言語的知識を身につける。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容		考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	古典入門 「児のそら寝」 馬と犬とのこと 随筆と日記	歴史的仮名遣い・いろは歌と五十音図 古語辞典の引き方・古語と現代語 漢字アルファ(4級) 活用と活用形(口語文法の復習と文語の活用)	定期考査①	13
	5月	「徒然草」	漢字アルファ(4級)		
	6月	「枕草子」	用言の活用・時刻・方位・月の異名 漢字アルファ(4級)	定期考査②	15
	7月	物語 「筒井筒」	古文の面白さを味わう。 助動詞の基礎 漢字アルファ(4・3級)		
	8月		歌物語の作成 漢字アルファ(3級)		
9月	和歌 「古今和歌集」	和歌の修辭法 鑑賞と暗唱 漢字アルファ(3級)	定期考査③	15	
後 期	10月	漢文入門 「故事成語」	漢文訓読の決まり 返り点・置き字・再読文字・書き下し文 漢字アルファ(3級)	定期考査④	18
	11月	論語 「学問」 「生き方」	繰り返し読み下す。 漢字アルファ(3級・準2級・2級)		
	12月	史伝 「三国志の人々」	漢文の世界に親しむ。 漢字アルファ(準2級・2級)	定期考査⑤	17
	1月	カルタ 漢詩 「静夜思」 「江南春」	百人一首に親しむ。 漢詩の形式理解・鑑賞と暗唱 漢字アルファ(準2級・2級)		
	2月	「勸酒」	漢字アルファ(準2級・2級)		
3月	古典の響き	冒頭文の暗唱と鑑賞 漢字アルファ(4級～2級の復習)			

4 評価の方法

定期考査に漢字の小テスト・課題の取り組み、提出状況・出席率等を加味した総合評価とする。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 授業に遅れたり休んだりしないこと。プリントやノートをきちんと整理すること。漢字の小テストにしっかりと取り組むこと。

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	国語表現 I	単位数	2 単位
-----	--------	-----	------

1 教科書・副教材

国語表現 (教育出版) パスポート国語必携国語常識の演習と確認 改訂版 (桐原書店)
国語表現演習ノート (教育出版)

2 科目の目標

演習を通して話す・聞く・読む・書くという表現力を身につけるとともに、自分の考えを伝える技能や態度を養う。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)	
前 期	4月	問題集 課題プリント	口語文法の基本 漢字・ことわざ・故事成語 文の組み立て (対応・呼応)	定期考査①	13
	5月	課題プリント	表現の基本 文の組み立て	定期考査②	15
	6月	教科書 問題集	書き言葉と話し言葉 漢字の読み書き ことわざ・格言・慣用表現		
	7月	教科書 問題集	紀行文を読む 四字熟語・反意語・類義語		
	8月	課題プリント 問題集	課題作文の書き方 文の構成・題材集め 漢字の成り立ち 短い文章を書く	定期考査③	15
9月	作文演習	まとまりのある文章を書く 推敲のしかた			
後 期	10月	小論文演習 問題集	小論文を書く 文章の構成 漢字・ことわざ・四字熟語	定期考査④	18
	11月	課題プリント	要約しよう 字数制限のある要約文の演習	定期考査⑤	17
	12月	小論文演習 教科書	テーマ別小論文の書き方 手紙の書き方 正しい表現・美しい表現		
	1月	課題プリント 問題集	コラムを読んで読解力をつけよう 漢字・ことわざ・四字熟語の演習		
	2月	教科書	敬語の使い方 国語常識を学ぶ		
3月	ディベート 教科書	自分の意見を発表しよう 聞く態度・メモの取り方 発表のしかた			

4 評価の方法

1時間1時間の成果を、各自の到達目標に照らし合わせ評価していく。演習プリント・作文・課題の内容を、定期テストとのバランスを取りながら評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 演習プリントは毎時間ごとに間違えた所を直し、復習しながら進めること。提出物は必ず提出すること。

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	古典A	単位数	2単位
-----	-----	-----	-----

1 教科書・副教材

古典A 物語選 (大修館書店)

2 科目の目標

古文、漢文、漢詩の読解力と鑑賞力を身につける。古文は説話、随筆のおもしろさを味わう。漢文は基礎的な訓読から鑑賞力を高める。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)
前 期	4月	「今昔物語集」 安倍晴明	定期考査①	13
	5月	「宇治拾遺物語」 小野篁広才のこと		
	6月	「十訓抄」 大江山いくのの道	定期考査②	15
	7月	「枕草子」 中納言参りたまひて		
	8月	「方丈記」 行く川の流れ		
9月	「徒然草」 家居のつきづきしく	定期考査③	15	
後 期	10月	「故事」 知音	定期考査④	18
	11月	画竜点睛		
	12月	「竹取物語」 かぐや姫の昇天	定期考査⑤	17
	1月	「伊勢物語」 初冠		
	2月	「大和物語」 をばすて		
3月	「源氏物語」 桐壺			

4 評価の方法

課題の提出状況や出席率等を加味した総合評価とする。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 授業に遅れたり、休んだりしないこと。配布プリントなどは最後まで捨てずにきちんと整理しておくこと。
--

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	漢字と文化	単位数	2単位
-----	-------	-----	-----

1 教科書・副教材

『プレゼミ実用国語』(浜島書店), 『常用漢字アルファ』(桐原書店)

2 科目の目標

各テーマごとに分けられた文章を読みながら、言葉の知識を増やす。現代的な課題を述べた文章なので、一般常識や、作文、小論文を書く上でも役立てていく。
--

3 学習の計画

		学 習 の 内 容	考 査 範 囲	時 数 (予 定)	
前 期	4月	ガイダンス	学習の進め方・単位修得について	定期考査①	13
	5月	漢字学習について	語彙としての漢字熟語の重要性に気付き、辞書の使い方をはじめとして、自ら学ぶ姿勢を作る。		
	6月	基本編	各テーマについて触れながら、作文、小論文、一般常識の知識を増やす。熟語、同音異義語、慣用句について学ぶ。	定期考査②	15
	7月				
	8月	必修編	各テーマについて触れながら、作文、小論文、一般常識の知識を増やす。文学史についても大まかな流れをつかむ。	定期考査③	15
	9月				
後 期	10月	完成編	これまで学んだ学習をまとめるとともに、同訓異字や四字熟語について学ぶ。	定期考査④	18
	11月				
	12月	対策編	表現の基本から実際までのポイントをまとめ、知識の定着をはかる。 作文は例文を挙げて、どのような文章が求められているか学ぶ。「構想メモ」をとりながら、作文、小論文の対策をする。	定期考査⑤	17
	1月				
	2月				
3月	同音異字・同訓異字等	書き誤りやすい漢字の集中練習			

4 評価の方法

定期テストのみならず、課題の提出状況や出席率等を加味した総合評価とする。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ 授業に遅れたり、休んだりしないこと。プリントなどをよく整理しておくこと。この学習で基礎を固め、漢字検定(年に3回、上級合格は増加単位申請可)に挑戦するという目標を持って勉強に励むのもよいでしょう。
--

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	論点を探る	単位数	2単位
-----	-------	-----	-----

1 教科書・副教材

『ジャンル別キーワード解説』(桐原書店), 『ジャンル別キーワード解説ワークブック』(桐原書店)
--

2 科目の目標

現代社会における様々な事柄に対して、問題意識を持って論理的に探求し、批評するとともに、改善の端緒を自ら模索しようとする姿勢を育成する。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容		考査範囲	時数(予定)
前期	4月	ガイダンス	学習の進め方・単位修得について	定期考査①	13
		言語事項の復習	漢字検定3級以上の範囲の復習 評論的文章に頻出する語句や表現		
	5月	評論的文章に慣れる	評論的文章の読み方の復習と読解練習 評論的文章に必要な文章構成の理	定期考査②	15
		6月	コラムの読解		
	7月	社説の読解	新聞社説の読解・要約(新聞各紙)	定期考査③	15
		8月	読解と意見文(夏季休業中)		
	9月	キーワードの理解①	現代社会を考える上で不可欠なキーワードの理解	定期考査④	18
キーワードの理解②		現代社会を考える上で不可欠なキーワードの理解			
後期	10月	報道番組の視聴と理解	比較的難しめの特集番組を視聴し、理解のための背景を調べながら、内容をまとめて記述する	定期考査⑤	17
	11月	テーマ毎の論述①	設定されたテーマの中から選択し、取材・資料収集・構成など、論述の準備をする		
	12月	テーマ毎の論述②	論理性や効果的な表現等に注意しながら、何度か書き直した上で、	定期考査⑤	17
		テーマ毎の論述③(年末年始休業中)	休業を利用して、清書を完成する		
	1月	テーマ毎の論述④	互いの論述を読み合い、批評し合う中で、現代社会で何が問題となっているかを、自分の関心の無かった分野においても認識し、深	定期考査⑤	17
		2月	論述をもとに意見発表を行い、批評し合う		
	3月	テーマ毎の口述	論述をもとに意見発表を行い、批評し合う		

4 評価の方法

課題の提出状況や出席率等を加味した総合評価とする。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※ <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読んだり、ニュース番組を見たりといった習慣をつけ、時事問題に関心を持つようにするとよい。 ・授業に遅れたり、休んだりしないこと。(評価で不利になります) ・配布プリントなどは最後まで捨てずにきちんと整理しておくこと。
--

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	論述の基礎	単位数	2単位
-----	-------	-----	-----

1 教科書・副教材

『コラムと論説』演習ノート第4集(京都書房)

2 科目の目標

新聞のコラムや社説を主な教材として扱いながら、文章の構成を把握することによって要約の技術を高め、論の要旨を読み取る力をつけることを目指す。加えて、他者の考えを理解するとともに、それに対する自らの意見を持つことの大切さに気付かせ、筆記・口述ともに論述ができるようにする。

3 学習の計画

		学 習 の 内 容		考查範囲	時数(予定)
前 期	4月	ガイダンス 言語事項の復習	学習の進め方・単位修得について 漢字検定3級以上の範囲の復習 評論的文章に頻出する語句や表現の理解	定期考查①	13
	5月	評論的文章に慣れる	評論的文章の読み方の復習と読解練習 評論的文章に必要な文章構成の理解		
	6月	コラムの読解①	新聞コラムの読解・要約(副教材中心)	定期考查②	15
	7月	コラムの読解②	新聞コラムの読解・要約(新聞各紙中心)	定期考查③	15
	8月	コラムの読解③ と意見文 (夏季休業中)	新聞コラムの読解・要約と意見文(夏季休業中の宿題として新聞各紙)		
		社説の読解①	新聞社説の読解・要約(副教材中心)		
9月	社説の読解②	新聞社説の読解・要約(新聞各紙中心)			
後 期	10月	報道番組の視聴と理解①	特定の社会問題についてのニュース番組を視聴後、新聞報道と比較し、内容をまとめて記述する	定期考查④	18
	11月	報道番組の視聴と理解②	比較的難しめの特集番組を視聴し、理解のための背景を調べながら、内容をまとめて記述する		
	12月	テーマ毎の論述①	設定されたテーマの中から選択し、取材・資料収集・構成など、論述の準備をする	定期考查⑤	17
		テーマ毎の論述② (年末年始休業中)	休業を利用して、論述の準備をする		
	1月	テーマ毎の論述③	論理性や効果的な表現等に注意しながら、何度か書き直した上で、清書する		
	2月	テーマ毎の論述④	互いの論述を批評し合う		
3月	テーマ毎の口述	論述をもとに意見発表を行い、批評し合う			

4 評価の方法

課題の提出状況や出席率等を加味した総合評価とする。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

- ※ ・新聞を読んだり、ニュース番組を見たりといった習慣をつけ、時事問題に関心を持つようにするとよい。
 ・授業に遅れたり、休んだりしないこと。(評価で不利になります)

平成28年度 学習の手引き(シラバス)

科目名	現代文A	単位数	2単位
-----	------	-----	-----

1 教科書・副教材

新編現代文A (東京書籍) ・ 完全準拠学習課題ノート

2 科目の目標

国語総合における学習を基に、適切に思考し、表現する力と的確に理解する力を育み、社会生活・人間関係・生涯学習を支える言語的・思想的基礎力を養う。

3 学習の計画

			学 習 の 内 容	考査範囲	時数(予定)
前 期	4月	随想・評論編	『さくらさくら』 作品に込められた作者の思いにアプローチする。	定期考査①	13
	5月	小説編	『みどりのゆび』 主人公の行動と心理の機微を的確に掴み、感性的表現や特徴的な比喩の効果を理解する。		
	6月	随想・評論編	『ミロのヴィーナス』 筆者の主張をつかむ。	定期考査②	15
	7月	言語活動編	『朗読して味わう』 独特の発想や感性に触れる。	定期考査③	15
	8月	小説編	『ナイン』 登場人物の心情を追いながら、感情表現や文章表現を学ぶ。		
9月		『山椒魚』 文学の思想性と実験的手法を理解する。			
後 期	10月	随想・評論編	『言葉と世界』 言葉と世界の間をつかみ新しい視点を学ぶ。	定期考査④	18
	11月	言語活動編	「外国文化の影響を調べて発表する。」 外国文化から受けた影響について理解を深める。		
	12月	随想・評論編	『塩1トンの読書』 筆者の主張を追いながら、読書が日々の生活にどのような意味があるのか考える。		
	1月	小説3	『こころ』 明治の知識人の役割、自己愛と友愛、そしてその矛盾に考えを致す。	定期考査⑤	17
	2月	言語活動編	「読み比べて考える」 同じテーマに関する様々な文章を読み比べることで多面的に物事を捉える力を養う。		
	3月				

4 評価の方法

定期考査を中心に出席状況と授業への取り組みを総合的に評価する。

5 学習にあたっての注意とアドバイス

※

教科書準拠課題ノートと語句調べノートの完成を目指し、辞書の使用を習慣化すること。